



対話で築くクラス

生徒 大貫クラスは、1学年の中でもチームワークがよいクラスだと思います！学校祭の催し物を縁日にした時も、クラス全員で出し合った考えを取り込みながら1つのアイデアがどんどんよい形になっていく、その過程が楽しかったです。

先生 昼休みや放課後に自分たちで集まって、準備を進めていたよね。先生は安全面を確認するだけで、安心して任せることができました。

生徒 今のこの雰囲気があるのは、入学式の前に初めてこの教室に集まった時、先生が「5分間、できるだけ多くの人と挨拶をしよう」と、自己紹介の場を設けてくれたからだと思います。それで緊張感が一気に解けて、和やかな空気になりました。

先生 最初に打ち解けるきっかけがあれば、あとは自分たちで仲よくなれると、先生は思っていたよ。

生徒 意見をはっきり言う一方で、否定的なことは言わず、他者の意見も聞けるクラスメートばかりだから、中学校時代は遠慮しがちだった私も、積極的に発言できるようになりました。黙っている人がいたら、「どう思う？」と自然に聞けるのも、このクラスのよさだと思います。

生徒 どの人とも話しやすいから、授業でのペアワークやグループワークも活発に行えています。

先生 対話的な活動では、みんなが発言しやすいように、最初は基礎的なことを問い、最後の方にグループ全員で考えを出し合って解くような発問をして、話しやすくする工夫もしているよ。分からないことも、力を合わせれば解決できることを経験してほしいんだ。

生徒 他者の考えを聞くと、自分の考えが深まり、さらに、日頃、学習している様子が分かって刺激も受けます。先生に学習についての相談をした時、朝早く学校に来て学習することを続けて、成績がぐんぐん伸びた先輩の話がされましたよね。私も頑張ってみようと、朝、それまでよりも1本早い電車に乗るようになりました。

生徒 図書室で勉強しているよね。その姿を見て、私も早起きして、家で勉強してから登校するようになったよ。

先生 ホームルームなどでセルフマネジメントの大切さをよく話すのは、自分自身が成果を上げることで周りにもよい影響を与えられるようになってほしいという先生の願いもあります。クラスのよさを伸ばして、学び合いがさらに深まるよう、応援していくよ！

大貫宏明先生 教職歴21年。同校に赴任して8年目。進路指導部副部長。1学年担任。

栃木県立栃木女子高校 全日制/普通科/女子校/1学年 約240人/2019年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、北海道大、東北大、筑波大、宇都宮大、お茶の水女子大、東京外国語大などに95人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、早稲田大などに延べ472人が合格。